

中学生・高校1年生女子の
保護者のみなさまへ

子宮頸がんは 「予防可能な」がんです!

子宮頸がんは、
ワクチンの接種と
定期的な検診で
予防することができます。



子宮頸がん予防ワクチン接種費用の
公費助成のお知らせです。

子宮にできるがんには、2種類あります

子宮の入り口付近にできるがんを「子宮頸(しきゅうけい)がん」といいます。
また、子宮の奥にできるがんを「子宮体(しきゅうたい)がん」といいます。
この2種類のがんは、原因や発症しやすい年齢・特徴などが異なります。

	子宮頸がん	子宮体がん
発症しやすい年齢	30歳代が発症のピーク	50歳代が発症のピーク
原因	ヒトパピローマウイルス(HPV)	肥満、高血圧、糖尿病、更年期障害などのホルモン剤の長期使用
初期症状	ほとんどなし	不正性器出血

ヒトパピローマウイルス(HPV)って？

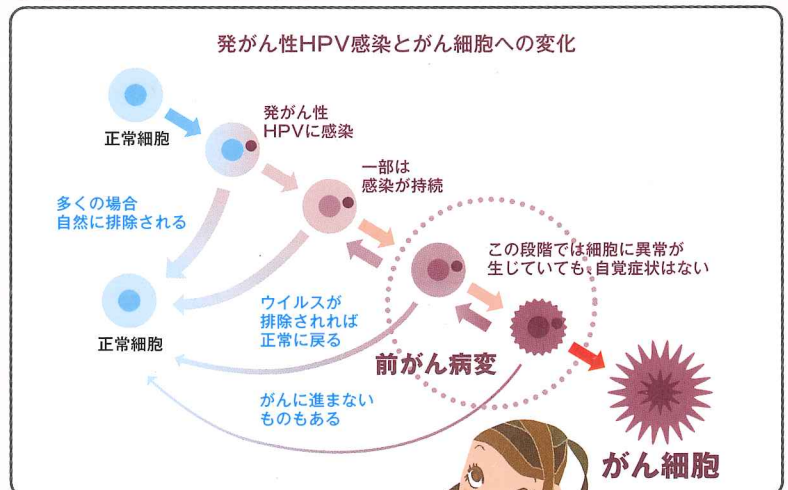
ヒトパピローマウイルス(HPV)は皮膚や粘膜に感染するウイルスで、100種類以上のタイプがあります。

このうちの約15種類は子宮頸がんの原因となることが多いため、発がん性HPVと呼ばれ、中でも、HPV16型とHPV18型と呼ばれる2種類は、子宮頸がんを発症している20～30歳代の女性の約70～80%から見つかっています。

発がん性HPVは、多くは性交渉の時に感染しますが、その約90%は自然に排除されます。しかし、10%が感染したままとなり、その一部が子宮頸がんになる可能性があります。

子宮頸がんになるまでには、通常、数年～十数年と長い時間がかかるので、定期的な子宮がん検診を受けていれば、早期に発見し、治療することが可能です。

子宮頸がんになるまで



子宮頸がん予防ワクチンって？

ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を予防することができるワクチンが「子宮頸がん予防ワクチン」です。

子宮頸がんの原因として最も多く報告されている2種類(HPV16型、HPV18型)のウイルスの感染を防ぐワクチンが、日本では2009年12月から医療機関で接種することができるようになりました。

このワクチンを3回接種することで、HPVの感染から長期にわたってからだを守ることが可能です。

しかし、他の型の感染を防ぐことはできません。また、すでに感染しているHPVを排除したり、前がん病変やがん細胞を消滅させる効果はありません。

そのためにも子宮頸がん予防ワクチンを接種するだけでなく、20歳になったら最低2年に1回は子宮がん検診を受けることが必要なのです。

子宮頸がん予防ワクチンQ&A

◆Q1 ワクチンはどこで接種できるの？

府内の産婦人科・内科・小児科などで接種可能です。

なお、予約が必要な場合がありますので、必ず事前に医療機関へ電話等で確認してください。

◆Q2 ワクチンはどこに何回接種するの？

子宮頸がん予防ワクチンは、肩に近い腕の筋肉に注射します。

初回接種、1か月後、6か月後の計3回の接種が必要です。

◆Q3 ワクチンの接種費用はどのくらい？

医療機関によって異なりますが、1回15,000円前後で、3回の接種で45,000円程度です。

公費助成制度がありますので、手続き等はお住まいの市町村にお問い合わせください。

◆Q4 ワクチンは何年くらい効果があるの？

臨床試験ではワクチン接種後約6年半まで有効期間は確認されており、また、20年以上効果が持続するものと推測されています。

◆Q5 ワクチン接種後の症状は？

接種後に注射した部分が腫れたり痛むことがありますが、通常は数日間程度で治ります。

重い副反応として、まれに血管浮腫・じんましん・呼吸困難などがあらわれることがあります。

◆Q6 ワクチン接種の推奨年齢は？

日本産科婦人科学会や日本小児科学会は、最も効果が高い11歳～14歳での接種を推奨しています。

また、40歳でも3～4割の方は効果がみられ、日本産婦人科医会は、45歳まで接種を推奨しています。

◆Q7 公費助成制度の内容は？

開始時期：平成23年1月(予定)

接種対象：京都市内に住所のある中学1年生～高校1年生の学年に相当する年齢の女子

平成22年度：平成6年4月2日～平成10年4月1日生まれの女子

平成23年度：平成7年4月2日～平成11年4月1日生まれの女子

手続：助成を受けていただくための手続は、市町村ごとに異なります。

くわしくはお住まいの市町村からの「お知らせ」をご覧くださいか、直接お問い合わせください。



子宮がん検診で早期発見!!

今や、がんは早期発見し、早期治療すれば治すことができる病気です。
特に子宮頸がんは、検診で早期発見しやすく、完治しやすいがんです。
20歳になったら最低2年に1回は子宮がん検診を受けましょう。

がん検診の詳細はお住まいの市町村へお問い合わせください。

子宮頸がん

〔 予防ワクチン接種費用助成
がん検診 〕

担当窓口

市町村名	担当課室名	電話番号
京都市	保健衛生推進室 保健医療課	075-222-4421
向日市	健康推進課	075-931-1111 内線)339 または357
長岡京市	健康推進課 保健活動担当	075-955-(9704) 9705)
大山崎町	町民健康課 健康増進係	075-956-2101
宇治市	健康生きがい課 健康づくり係	0774-20-8793
城陽市	健康推進課 (保健センター)	0774-55-1111
久御山町	長寿健康課 保健予防係	075-631-9903 0774-45-3904
八幡市	健康推進課	075-983-1111(代)
京田辺市	健康衛生課	0774-64-1335
井手町	保健センター	0774-82-3385
宇治田原町	保健センター	0774-88-6636
木津川市	健康推進課 保健予防係	0774-75-1219
笠置町	住民課	0743-95-2301
和束町	福祉課 健康係	0774-78-3001
精華町	衛生課 保健衛生係	0774-95-1905
南山城村	保健福祉センター	0743-93-0294

市町村名	担当課室名	電話番号
亀岡市	保健センター	0771-25-5004
南丹市	健康課	0771-68-0016
京丹波町	保健福祉課	0771-86-1800
福知山市	健康推進室	0773-23-2788
綾部市	保健推進課 保健推進担当	0773-42-0111
舞鶴市	健康増進課	0773-65-0065
宮津市	健康福祉室 健康増進係	0772-22-7273
与謝野町	保健課 保健係	0772-43-1514
伊根町	保健センター	0772-32-3031
京丹後市	健康推進課	0772-69-0350

